

令和元年度地域包括支援センター活動評価結果について

1次・2次評価表（46項目）

基準日	一次評価：受託者	二次評価：鹿屋市
A：できている	44	45
B：一部できている	2	0
C：できていない	0	0
未評価	0	1

本方針	評価項目	評価の視点	一次評価		二次評価	
基本方針	方針の共有	本方針及び事業計画が理解され、関係者との連携が適切に行われている。	A	方針を共有し、連携も図られている。	A	
	公平・中立性	サービス事業者等の紹介が適切に行われ、公平・中立性が確保されている。	A	一定の事業所に偏らないように対応している。	A	
実施方針	窓口体制	開庁日時、休日夜間における総合相談の窓口体制が適切に確保されている。	A	電話当番により、24時間365日の対応を実施している。	A	
	職員体制	専門職種が適切に配置されている。	A	プロパーは一定数を確保し、配置済み。	A	実施基準を踏まえ2025年を見越した人員体制の検討は必要
	チーム対応	ミーティングを定期的に行うなど、チームで業務に当たっている。	A	全体会議、グループ長会議、各分科会など定期的に開催している。	A	
	研修	職員に対する職場内、職場外の研修機会が確保されている。	A	外部研修を含め、職場研修を開催している。	A	
			A	外部研修を含め、職場研修を開催している。	A	
	ネットワーク	高齢者クラブ等の既存活動を活用し、ネットワークの構築が行われている。	A	民生委員の会や社協のサロンなどに積極的に参加している。	A	
		把握した地域資源をマップやリストに整理し、適切に管理・共有されている。	A	マップ作りに参加し、有料老人ホーム等のリストも作成している。	A	
	地域ケア会議	積極的に活用され、適切な支援、支援に対する進行管理が行われている。	A	積極的に活用し、適切な支援へと繋げている。29件実施	A	
		自立支援・重度化防止等に資する観点から個別事例の検討を行っている。	A	自立支援型地域ケア会議を開催し、検討している。	A	
地域ケア会議	把握された課題や政策が地域ケアふれあい会議に適切に報告されている。	B	新型コロナでふれあい会議を開催できず、報告ができなかった。	-	感染防止対策を講じた結果であり、評価できない。	
総合相談	ワンストップ	緊急性の有無、主訴以外の課題の判断を踏まえ、親切丁寧、迅速、ワンストップの対応が行われている。	A	傾聴に努め、親切丁寧、迅速なワンストップ対応を行っている。	A	

本方針	評価項目	評価の視点	一次評価		二次評価	
総合 相談	ブランチ	身近な窓口としてブランチが機能し、適切に連携されている。	A	ブランチ機能として連携している。	A	
	記録	全ての相談内容(地域ケア会議含む)が適切にほのぼのに記録されている。	A	記録の漏れがないかチェックし、進捗管理も行っている。	A	
	困難事例	困難事例等はケースカンファレンスを開催する等、適宜関係機関と連携し、支援の方向性を検討している。	A	困難事例はケース会議を開催し、適宜関係機関と連携している。	A	
	専門的・継続的支援	専門的継続的な支援が必要な場合は、関連業務への引き継ぎ、地域ケア個別介護の活用、定期的なモニタリングなどが行われている。	A	地域ケア個別会議を活用しつつ、総合相談進捗会議での終結の判断、モニタリングの実施を行っている。	A	
	進行管理	全ての相談案件の進行管理が適切に行われ、相談の終了は「総合相談支援終了基準(仮称)」に基づき行われている。	A	市(地域包括ケア推進係)と事例の進捗会議にて、事例の共有と終結案件の確認を行っている。	A	
	市への報告	相談案件(介護保険サービスに関する相談サービス)を市に報告している。	A	月報にて定期報告し、包括支援センター運営協議会においても報告している。	A	
権利 擁護	啓発	様々な機会を活用し啓発に努めている。	A	民生委員への情報提供や虐待防止研修会において啓発している。	A	
	支援	成年後見制度や消費生活センターの活用など、支援が適切に行われている。	A	成年後見制度での市町村申立の支援など行っている。	A	
	虐待対応	虐待の相談、早期発見に取り組み、虐待が発見されたときは、実態の把握、安全の確保、市への報告が迅速に行われている。	A	市と連携し、迅速な対応をしている。	A	
ケア マネ ジメ ント 支援	介護支援専門員の支援	相談窓口を確保し、必要な助言指導、情報提供や研修の実施、同行訪問、サービス担当者会議等の支援を行っている。	A	リーフレット配布、よろずや相談などの実施に加え、日々の相談をQ&Aにまとめ、研修会や会議での支援を行っている。	A	
	研修会の開催	研修会・事例検討会・意見交換の場等の開催計画を作成し、実施している。	A	研修会は年1回居宅CMの意見を集約し企画実施している。R1年度は年4回の事例研究会を行い、よろずや相談会や連絡会を活用し、意見交換の場を設けている。	A	

本方針	評価項目	評価の視点	一次評価		二次評価	
ケアマネジメント支援	相談の把握	介護支援専門員の相談の内容を整理・分類し経年的に件数を把握している。	A	年間を通して相談を受けた内容を5項目に分類し、集計してる。	A	
介護予防マネジメント	適切な利用促進	基本チェックリスト該当者の利用が適切に促され、自立支援に資するケアマネジメントが行われている。	B	新規事業対象者が自立支援に繋がるように、多職種によるケース会議を開催した。計画した研修会を実施できなかった。	A	感染防止対策を講じた結果であり評価できないが、随時、多職種での自立支援・重度化防止に資したケース会議は開催されている。
在宅医療・介護連携	受け皿づくり	入退院時の連携のための退院支援ルールの周知、活用、普及に努めている。	A	ルールの周知・活用に努め、入院時支援90%、退院時支援80%超の活用がある。	A	
	課題の検討	様々なデータ等を活用し、課題を検討している。	A	医師とCMの連携に係るアンケートを実施し、課題を抽出、解決策を検討している。	A	
	対応策の協議	医療・介護関係者等が参画する会議において対応策を協議し、実施している。	A	医師会に在宅医療検討委員会を設置し、協議、その対応策を実施している。	A	
	相談窓口	相談窓口を設置し、内容を医師会等の会議で報告している。	A	入退院に係る相談を随時受け付けている。その内容を事業委員会で報告している。	A	
	入退院等支援	医療機関等の日常的な連携に努め、在宅看取りの支援が行われている。	A	連携に努め、在宅看取りの支援も行っている。連携担当者マニュアルの作成。	A	
認知症施策	認知症の啓発	市民の理解を得られるような情報提供や学習機会を提供している。	A	てなんが講座、サポーター養成講座、オレンジカフェを開催した。	A	
	認知症の支援	相談内容に応じて専門医・専門機関の情報を提供し、認知症初期集中支援チームに引き継ぐなど、早期発見・対応に向けた支援をしている。	A	総合相談から認知症初期集中支援チームへスムーズに引継ぎ、支援に繋いでいる。	A	
	情報提供	認知症初期集中支援チームから認知症地域支援推進員へ支援事例の情報提供を行っている。	A	チーム会議への参加と日頃より支援対象者の情報共有を図っている。	A	

本方針	評価項目	評価の視点	一次評価		二次評価	
指 定 介 護 予 防 支 援	アセスメント	要介護認定率の改善のため、総合事業の適切な活用が行われている。	A	担当者を配置し、適切な活用をしている。	A	
	介護予防サービス計画	自立支援による要介護度改善、日常生活支援の活用による給付費適正化を目指した適切な介護予防ケアプランの作成、評価が行われている。	A	介護予防及び日常生活支援を目的として、適切なアセスメントの実施による介護予防ケアプランの作成・評価を行っている。	A	
生 活 支 援	日 常 生 活 支 援	要支援高齢者については地域の支えあいを積極的に活用することとし、生活支援コーディネーターや地域福祉コーディネーターへ引き継いでいる。	A	地域の代表者（民生委員や町内会長）などの連携を強化し、必要に応じコーディネーターと情報共有した。	A	
本 市 の 事 業 へ の 協 力	市 へ の 協 力	在宅医療・介護連携、認知症施策、介護給付適正化等に関する本市の事業との連携や協力が適切に行われている。	A	地域包括ケア推進係と包括との合同会議や作業部会において情報共有の上、連携している。	A	
そ の 他	手続き・報告	設置の手続き及び報告が期日までに適切に行われている。	A	設置、プラン作成の手続き等報告している。	A	
	職員体制	受託者の雇用職員が採用計画に基づき配置されている。	A	採用計画に基づき配置されている。	A	実施基準を踏まえ2025年を見越した人員体制の検討は必要
	職務専念	職員が職務に専念し、個人情報保護を遵守している。	A	規程を定め、誓約等を徴し、職務専念、個人情報保護遵守を徹底している。	A	
	広報	分かりやすい看板や案内表示が掲示され、パンフレット・チラシの配布、ホームページ、出前講座等によりセンターの活動が個表されている。	A	ホームページでの周知に加え、オレンジカフェなどでのパンフレットの配布、全戸配付の包括便りなどにより広報している。	A	
	公表	事業内容、運営状況が公表されているか。	A	HPや年1回の広報紙を通じ、周知を図っている。	A	
	苦情対応	対応、対策の検討と共有、市への報告が適切に行われている。	A	苦情対応のマニュアルを作成し、受付簿により共有を図っている。	A	
	財産の使用	必要な機器等を確保し、貸与財産を含めて適切に管理使用されている。	A	備品シールを貼り、台帳により管理している。	A	
	情報管理	個人情報の同意取得が行われ、個人情報が適切に管理されている。	A	鍵付の保管庫に収納し、情報持出簿により管理している。	A	
	会計処理	金銭の管理が適切に行われ、支払い等の業務が適切に行われている。	A	医師会での会計監査も受け、管理を適切に行っている。	A	

